令和６年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立　秋鹿小学校　】

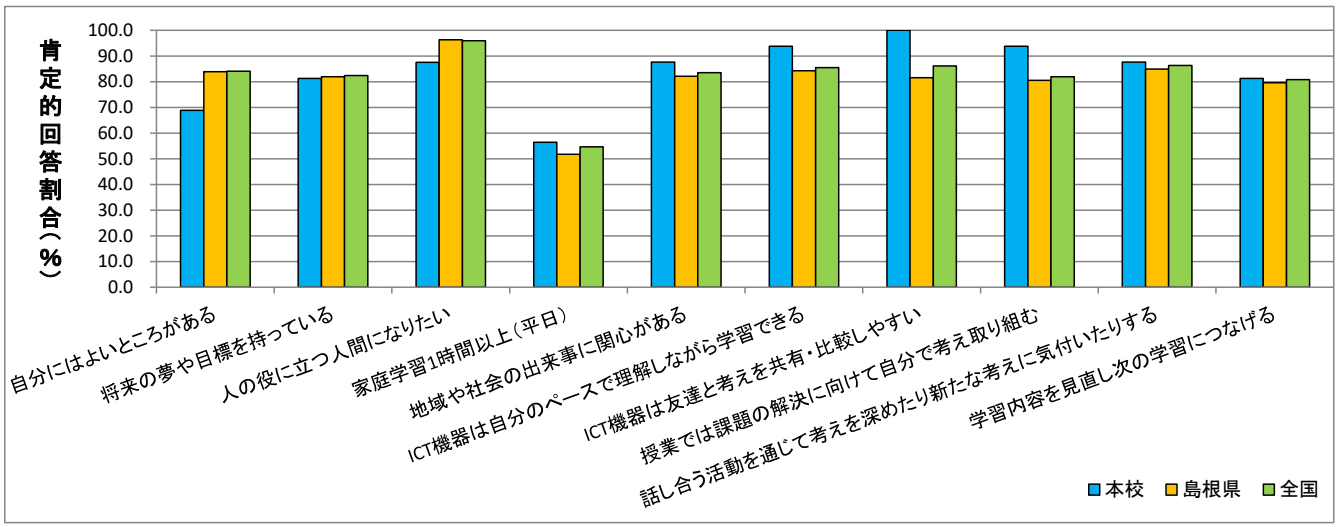
（1）学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○：成果，●：課題)	対　策（・）
国語	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。	・教科学習や、児童会活動などでプレゼンをする際に、構成メモやキーワードを中心にした発表をする経験を積む。また、社会科見学などでメモを取る際も、大事なことを聞き取り、図式などを利用したメモを取る経験を増やす。 ・評価言を、教師だけでなく子どもたち同士で伝え合う学習を積み重ねる。
算数	○無回答がない。→なんとかしようとする児童が多い。 ○問題文をしっかり理解し、基礎基本がしっかりできている。→全体的に正答率が高い。3の（4）・5の（2）が特によくできていた。 ●モデルと答えになる部分とで違いがある場合、うまく表現できていない可能性が高い。（5の（3）折れ線グラフ　表からの読み取り記述問題） ●円周率を使っている児童が多いことからも、問題を難しくとらえていると思われる。（3の（3）箱の体積を求める問題）	・もっと簡単に解けるのではないかという見方・考え方ができるようにしていく。

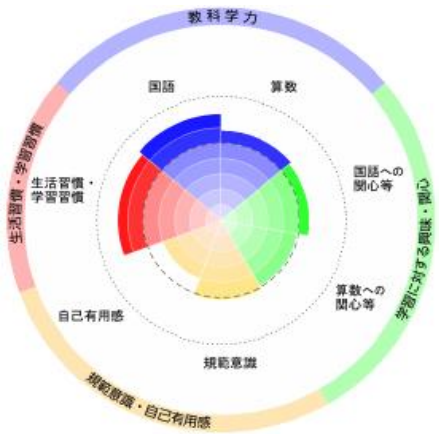
（2）質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○：成果，●：課題)	対　策（・）
質問紙	○地域への意識が高い。 ○ICT機器を使った学習について肯定的に捉えている児童が多い。 ●自分のよさを十分に感じていない児童がいる。	・学習や生活面で教師だけでなく、子どもたち同士でお互いのよさを認め合う経験を積み重ねる。

（3）質問紙調査の結果より（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。）



（4）学力・学習状況調査結果チャート（破線は全国平均）



（5）その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・校内研究と関連をもたせ、友達との対話を通して学習するよさを実感させると共に、自分の考えを説明する力を付けていく。

【受検者数】

16 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。